

いじめ問題解決に向けた年間の取組

資料 4

藤岡市立 小野中 学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 縦割り班でのピアサポート活動(人間関係づくり) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 二者面談の実施 縦割り班での陸上記録会応援練習 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 学校保健委員会(縦割り班で朝食について考える) 各クラスあいさつ運動 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題解決に向けた教育懇談会
7月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 長期休業前 SNSの利用について生徒に啓発 三者面談の実施 	
8月		
9月	<ul style="list-style-type: none"> 藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加(藤岡工業高校) 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) HAPPYはあとふるツリー(後期人権週間) 人権に関する各委員会の取組(後期人権週間) いじめに関する道徳の実施 三者面談の実施 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 人権講演会(SOSの出し方に関する教育、情報モラル教育、みんなで考えるハンセン病) 人権週間のエンディング集会(取組の発表など) 冬期休業前 SNSの利用について生徒に啓発 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> 生徒集会にて子ども会議の内容の伝達 生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) 縦割り班でのピアサポート(最後の交流・先輩から後輩へのメッセージ) 春期休業前 SNSの利用について生徒に啓発 	

いじめ問題解決に向けた取組の報告

(学校名 藤岡市立小野中学校)

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

児童生徒同士で雑談やイベントを目的や頻度、話題を決めて行う

2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

いじめ問題解決のためには、日頃の「話し合い」と「交流」が大切であると考えます。そうした機会を全校生徒でもつことができるように、生徒たちが言葉を積極的に交わし、気持ちよく活動できるイベントや企画を考えて実施していくことを目指す。また、活性化させるために、一時的なものではなく、目的や頻度も考えながら継続していける取組を実施していきたいと考える。

3 共通の取組

①「あいさつ運動」



クラスごとに朝のあいさつ運動を行った。ハイタッチは感染予防の観点などから今年度も行わなかったが、明るい挨拶の声が登校する生徒たちを迎え、良い雰囲気での活動を行うことができた。

②「HAPPYはあとふるツリー運動」

「思いやりをもって個人を尊重し、ふわふわ言葉を使おう」という生徒会テーマのもと、各クラスで、はぁーとふるツリーの作成を行った。1枚は席の近くの友達にメッセージを書くなど、必ず全員の名前がツリーの中に入るようにした。それ以外は学年やクラスの枠を超えて自由に記入できるようにした。どのクラスも、一人複数枚記入しており、普段なかなか言葉にできない感謝の気持ちや、嬉しかったことなどを花びらにのせてたくさん書くことができた。休み時間にはツリーの前に立ち止まって花びらを嬉しそうに読む生徒の姿も見られた。人権集中学習期間中は生徒会本部役員が各クラスのツリーで見つけた素敵な言葉を昼の放送で紹介し、花びらを満開にできるように呼びかけた。

人権集中学習期間の最後には各クラスのはぁーとふるツリーの報告を全校生徒の前で学級委員長が行った。また、人権集中学習期間が終了した後も生徒玄関に全クラスのはぁーとふるツリーを掲示し、皆が見られるようにした。



4 私たちの取組

(1) 人権集中学習

今年度は11/27～12/18までの三週間を人権集中学習期間とし、各委員会が協力して以下のような取組を行った。

- ①生徒会本部と生活委員 はあとふるツリーの作成、報告
- ②保健委員会 エイズについての発表、ふわふわ言葉など優しい関わり方についての発表
- ③JRC ユネスコ委員会 募金活動、学校を歩いて募金を呼びかける運動
- ④生活委員会 こんにちは運動（学校内を歩きながら挨拶や声かけを行った。）
- ⑤図書委員会 人権集中学習期間に読んで欲しい本を紹介
- ⑥安全委員会 下校時の挨拶、交通安全の呼びかけ



その他にも、外部講師による人権講演会が開かれ、生徒皆で人権について考え学ぶ機会を設けた。

(二年生、SNS についての講演会→)



(2) きずな活動（縦割り活動）

きずなタイムでは、全校生徒が体育館に集まり、学年を超えての交流を行った。三年生がきずな班のリーダーとなり、後輩たちに話を振るなど、うまくまとめながら活動を行うことができた。年度初めには、自己紹介を兼ねてバースデーラインを行った。その際に集まった全校生徒の誕生日をカレンダーにまとめ、「きずな誕生日カレンダー」として廊下に掲示してある。毎月初めには、その月誕生日を迎える生徒の呼名を生活委員が行い、一人一人の存在を大切にするとともに、友達同士の「おめでとう」などの温かい言葉がけを促している。



5 取組のまとめ

(1) 取組の成果

きずな活動や各委員会からの取組により、生徒たちが直接言葉を交わしたり、掲示物や放送などでポジティブな言葉がけを行ったりする機会を多くもつことができた。全員で動く活動や、全員の名前が必ず入るものなどにより、一人一人の存在が大切に、皆で小野中学校をつくっているという意識も生徒たちがもてたと感じる。また、自分たちで協力して発表したり、運営したりする場面が多く、主体的な活動を行うこともできたと感じる。

(2) 今後の課題

「やらされているからやる」とならないことや、継続して取り組めるもの考えることが大切だという意見が生徒会本部の中で出ており、そうした視点を踏まえて今後の取組やイベントなどを考えていきたい。また、現在は委員会主導の活動が多くなっているため、委員会だけにとどまらず、各クラス、部活動などを積極的に動かしながら、よりたくさんの生徒が関わり、学校全体で取り組んでいける企画を実施していきたい。一方、新しい企画を一から考えることは簡単なことではない。子ども会議などを通して他校の取組や考えを聞くことができたので、そうした小野中以外のところで実施されている魅力的な取組も参考にしながら、小野中に合った活動を今後も考えていけたらと思う。